

一目でわかる健康な事実
子供達が健康に育つお手伝いをする秘訣!

子供の成長はマニュアル通りにいきません。



これは次に最も良いことです。

おむつをしていた頃から運転免許を取る年齢になるまで、お子様に必要な健康管理はあなたの手に委ねられています。お子様が順調に育つのを助け、健康でいられるように見守るための大切な情報があります。

予防接種(注射)

適切な予防接種は、子供達を危険な小児期の疾患から守るために最も安全で最も有効な方法です。

生後から1歳未満

- B型肝炎: 1回目と2回目を接種
- ジフテリア、破傷風及び百日咳(DTaP): 1回目、2回目、3回目を接種
- ヘモフィルス属-b (Hib): 1回目、2回目、3回目を接種
- ポリオ: 1回目、2回目を接種
- 肺炎球菌抱合体: 1回目、2回目、3回目を接種
- インフルエンザワクチン: 1回目と2回目を接種
- ロタウイルスワクチン: 1回目、2回目、3回目を経口投与

1歳~2歳

- A型肝炎: 1回目と2回目を接種
- B型肝炎: 3回目を接種
- ジフテリア、破傷風及び百日咳(DTaP): 4回目を接種
- ヘモフィルス属-b (Hib): 3回目または4回目を接種
- ポリオ: 3回目を接種
- 肺炎球菌抱合体: 4回目を接種
- はしか、おたふく風邪、風疹(MMR): 1回目を接種
- 水痘: 1回目を接種
- インフルエンザワクチン: 年1回

3歳~6歳

- ジフテリア、破傷風及び百日咳(DTaP): 5回目を接種
- ポリオ: 4回目を接種
- はしか、おたふく風邪、風疹(MMR): 1回目を接種
- 水痘: 2回目を接種
- インフルエンザワクチン: 年1回

11歳~18歳

- 髄膜炎菌ワクチン(MCV4): 1回目を接種
- 破傷風、ジフテリア、百日咳(Tdap)
- ヒトパピローマウイルスワクチン(HPV)
男性および女性: 1回目、2回目、3回目を接種
- インフルエンザワクチン: 年1回

*ご注意ください:異なる予防接種が必要なお子様もいます。担当の医療サービス提供者にお子様の予防接種の必要性についてお尋ねください。

鉛中毒スクリーニング

お子様の体内の鉛は、少量でも行動、学習と会話障害を招く可能性があります。血液検査は、お子様の体内に大量の鉛があるかどうかを知る唯一の方法です。

検査を行う必要がある年齢は:

- 生後12ヵ月
- 生後24ヵ月
- 6歳になるまでに一度も鉛中毒スクリーニングを受けたことがないお子様



歯科検診

専門家は、1歳の誕生日までに最初の歯科検診を受けるように勧めています。お子様が成長するにつれて、定期的な歯科検診を6ヵ月毎に受ける必要があります。

「健康児童」健康診断

定期的な児童健康診断で、医師はお子様の健康を観察して、今後起こり得る問題の予防を促進します。

「健康児童」の健康診断には、お子様の身長、体重、血圧の測定以外に以下を含む可能性もあります:

- 総合的な健康歴と発育歴
- 肉体的および精神的な健康と発育の評価
- 徹底的な健康診断
- 鉛中毒スクリーニング
- 健康教育および予備ガイダンス
- 臨床検査または他の診断検査(例えば結核)
- 視力、聴力、歯科検診
- 栄養状態の評価

「健康児童」健康診断のスケジュール

1週間以内 ● 1ヵ月 ● 2ヵ月 ● 4ヵ月 ● 6ヵ月
9ヵ月 ● 12ヵ月 ● 15ヵ月 ● 18ヵ月 ● 24ヵ月*

*24ヵ月後は毎年、お子様は健康診断を受ける必要があります。

ご家族は健康保険に加入していますか?

ご家族の誰かが健康保険に加入していない場合は、NJ FamilyCareにお電話またはオンラインからご連絡ください。私達は、無料または低コストの健康保険の資格を得るお手伝いをします。

NJ FAMILY CARE

Affordable health coverage. Quality care.

1-800-701-0710

(多言語で対応します)

TTY 1-800-701-0720

(耳が不自由な方のために)

www.njfamilycare.org

リス・クリスティ(州知事)、キム・グアダーニョ(副知事)、ニュージャージー州